

藤女子大学キリスト教文化研究所 2017 年度活動報告

1. 第 30 回日本カトリック大学キリスト教文化研究所協議会

6 月 9 日(金), 10 日(土) 於: 清泉女子大学

2. 第 20 回公開講演会

9 月 14 日(木) 13 時 30 分~15 時 15 分 於: 北 16 条キャンパス

月本 昭男 氏 (オリエント学・聖書考古学・旧約学・上智大学特任教授)

「「出エジプト」伝承の史実性とその思想的意義」

3. 公開講座

「パイプオルガンに親しむⅦ」

11 月 4 日(土) 14 時 00 分~15 時 30 分 於: 北 16 条キャンパス

大野 敦子 氏 (カトリック札幌北一条教会オルガニスト)

4. 研究例会

4 月 28 日(金) 於: 北 16 条キャンパス

「魂の外から内へ, そして外へ — トマス・アクィナスにおける魂の情念としての愛 —」

松村良祐 (所員)

11 月 25 日(土) 於: 北 16 条キャンパス

「amor facit extasim: トマス・アクィナスにおける愛の諸結果の中の脱我」

松村良祐 (所員)

「カントを読む: 批判の体系のアウトライン」 榊瀧弘市 (客員所員)

5. 『紀要』第 17 号 (2018 年 3 月) の刊行

講演: 聖書に学ぶ — 旧約と新約をつなぐもの: 信仰と約束の継承 —

阿部 包

論文: 魂の外から内へ, そして外へ

— トマス・アクィナスにおける魂の受動としての愛 —

松村良祐

論文: カントを読む — 「人間とはなんであるか」をめぐって —

榊瀧弘市

試訳: 『聖ヴァレリアの伝記』 3 章から 5 章

渡邊 浩

試訳: フィヒテ著 『フリードリヒ・ニコライの生涯と奇妙な意見』 (1801 年) (1)

勝西良典

『キリスト教文化研究所紀要』投稿規定

I. 執筆資格

原則として所員に限ります。外部からの投稿を受け付ける場合もあります。

II. 原稿の種類と枚数

1. 「論文」、「研究ノート」は400字詰め換算50枚（欧文の場合は10000字）程度とします。
2. 「書評」は400字詰め換算10～20枚とします。
3. 上の制限枚数の中には注を含めるものとします。
4. 図版、挿図、地図などは10点までとします。表題、通し番号を付し、出典のある場合はその旨を明記してください。特殊製版の費用は執筆者の負担となることがあります。
5. 原稿は打ち出し原稿1部とそのコピー1部とともに、フロッピー（テキスト形式。あるいはワープロソフトのソフト名を明記）で提出してください。
6. 制限枚数を超えた原稿は受理しないことがありますのでご注意ください。

* 原稿は未発表のものに限ります。

** 原稿の提出にあたっては、題目、氏名、所属機関名を和文と欧文で明記してください。

III. 原稿の体裁

1. 原稿は横書きとします。
2. 歴史的な名辞や術語および引用文などを除き、漢字は常用漢字、現代仮名遣いとします。
3. 数字の書き方は次の例示にしたがってください。

[例] 年代 2000年
数量 12回, 1,123人

IV. 引用文献

1. 和文の論文には「」、著書と雑誌には『』をつけてください。
2. 外国語文献の書名と雑誌名はイタリックにしてください。

V. 校正

1. 執筆者の校正は原則として初校限りとします。
2. 校正時における加筆・削除・訂正は、ほぼ同一字数内での差し替えを原則とし、数行にわたる組み替えを必要とするものは認められません。
3. 数行にわたる組み替えを必要とするようなものについては、掲載をお断りすることができます。
4. 校正返却の締切を厳守してください。

VI. 抜刷

抜刷（有料）をご希望のときは、部数をあらかじめ編集委員会までご連絡ください。

VII. 採否

投稿していただいた原稿は、編集委員会で審査のうえ、採否ならびに掲載の時期を決定して、執筆者に通知します。不採用の原稿はお返します。また、審査の結果、原稿の書き直しをお願いすることがありますので、ご了承ください。

VIII. 締切日

原則として毎年1月末に締め切ります。

IX. 利用許諾

本誌は電子化されウェブ上で公開されますので、掲載にあたっては、二次利用を許諾いただいたものとします。

※詳細は編集委員会まで問い合わせてください。